

館長のガラストーク

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

□妖精の森ガラスの歩み「ひかりのかたち」展のご案内

この展覧会は、国内で活躍するガラス作家が制作した“妖精の森ガラス”を展示・紹介するものですが、3年ほど前から当館のガラス工房のスタッフも新作を出品しています。

谷口絢香さんの「交わる」は、ウランガラスの素地にエナメルホワイトの線をらせん状に巻きつけ、それと斜めに白い線を交差させて網目模様を作り出しています。うつわの素地を通して向こう側が透けて見えるので、ゆるやかな網目の割には空間を含む入り組んだ模様展開になっています。

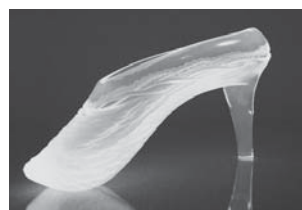
日浦佑記さんの「ガラスの靴」は、2015年の春に水口智貴さんが制作した素地にカットを加えたものです。周りにぐるっと施された溝のようなカットが、ガラスの物質としての素材感をさりげなく強調し、溝を取り巻く繊細なレース模様が仕上げの丁寧さを物語っています。

三浦和さんの作品は、ガラスの塊としてのヴォリューム感と、溶けたガラスがまとう柔らかい輪郭線の特徴としています。ウランガラスの塊をたっぷりとした透明ガラスで包み込んだこの「right stuff」では、上部のウランガラスだけでできた部分と、透明ガラスに包まれた下部から放射される光が微妙に異なり、神秘的な印象を呼び起こします。

今回の展覧会には50点ほどの作品が出品されますが、企画展示室にある2面の展示ケース内の作品はすべて紫外線照明でご覧いただけます。この機会にぜひ“妖精の森ガラス”の幻想的な輝きをお楽しみください。



谷口絢香「交わる」



日浦佑記「ガラスの靴」



三浦和「right stuff」

〈展覧会情報〉平成27年度冬期収蔵作品展 妖精の森ガラスの歩み「ひかりのかたち」展
平成28年4月4日(月)まで

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

鏡野町立中学校統合準備委員会に係る経過報告 新しい中学校づくりのための

鏡野町立中学校統合準備委員会開催経過

平成27年11月17日

第4回閉校行事部会開催

- 閉校記念誌について、鏡野地域の配布の仕方を協議
- ・閉校記念碑：業者決定報告

平成27年11月24日

第11回総務部会開催

- 通学体制の内、スクールバスの停留所設置について協議
- 校歌についての協議
- ・校歌完成版の試聴

平成27年11月30日

第7回鏡野町立中学校統合準備委員会開催

- 総務部会
- ・通学体制の内、スクールバスの停留所設置について協議運行上安全面も考慮し、地域で最大限建屋が必要と考える場所に限り、建屋工事費について町が該当地域に補助金を出すことを承認
- ・校歌完成版の試聴
- 閉校行事部会
- ・閉校記念誌について、鏡野地域の配布の仕方を式典に参加された方、編集原稿への寄稿、写真等の提供をしてくださった方、広報等で事前希望された町内在住の方に無償配布とすることを承認
- ・閉校記念碑：業者決定、今後文字書体、レイアウトについて調整を進める。
- ・開校式：平成28年4月7日(木) 始業式前に実施する。

お問い合わせ先

鏡野町教育委員会 学校教育課
電話 (0868) 54-7799